

対象校No.
注4

学校コード F127310108296
注3

設置年度 令和 7年度

計画の区分： 学部^{注1}の設置

届出

注2
藍野大学 看護学部

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正後大学設置基準適用)

学校法人藍野大学
令和7年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	大学事務センター 学生支援グループ
職名・氏名	グループ長・長谷川 ^{チョウ} 美佳 ^{ハセガワ ミカ}
電話番号	072-627-1711 (内線: 311)
(夜間)	072-627-1711 (内線: 311)
e-mail	soumuka@kanri-u.aino.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称: ◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合: 「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合: 「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合: 「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

4 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

看護学部

＜看護学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. 既設大学等の状況	16
5. 教育研究実施組織の状況	18
6. 附帯事項等に対する履行状況等	40
7. その他全般的事項	42

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人藍野大学

(2) 大 学 名

藍野大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒567-0012
大阪府茨木市東太田4-5-4

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を () 書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(コヤマ ヒデオ) 小山 英夫 (令和3年4月)		
学 長	(ササキ エウン) 佐々木 恵雲 (令和4年4月)		
学 部 長	(ホンダ ヨウコ) 本多 容子 (令和7年4月)		
学科長等	(ニシダ チナツ) 西田 千夏 (令和7年4月)		

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を () 書きで記入してください。
(例) 令和6年度に報告する内容 → (6)
令和7年度に報告する内容 → (7)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載 (昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正) するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(５) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 - ・ 様式は、令和２年度開設の４年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和７年度までの６年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が７年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(５)－① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の 名称（学位）	学位又は学科 の分野	設 置 時 の 計 画				学生募集の停 止について	備 考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
看護学部 看護学科 学士（看護学）	保健衛生学関係 （看護学関係）	4 年	115 人	2年次 0 人 3年次 2 人 4年次 0 人	464 人	－	

- (注)・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１）又は（その２の２））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和○年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「－」を選択。）

(５)－② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度		令和 7 年度		春季入学以外の 学期区分につい て	収容定員 充 足 率	収容定員 充 足 率 (控除後)	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 115 (2) [ー]	人 －	－	1. 09倍	一倍		
志願者数	人 (ー) [ー]	人 (ー) [ー]	人 (ー) [ー]	人 (ー) [ー]	人 (ー) [ー]	人 (ー) [ー]	人 (ー) [ー]	人 (ー) [ー]	人 (ー) [ー]	人 712 (0) [ー]	人 －					
受験者数	人 (ー) [ー]	人 (ー) [ー]	人 (ー) [ー]	人 (ー) [ー]	人 (ー) [ー]	人 (ー) [ー]	人 (ー) [ー]	人 (ー) [ー]	人 (ー) [ー]	人 675 (0) [ー]	人 －					
合格者数	人 (ー) [ー]	人 (ー) [ー]	人 (ー) [ー]	人 (ー) [ー]	人 (ー) [ー]	人 (ー) [ー]	人 (ー) [ー]	人 (ー) [ー]	人 (ー) [ー]	人 283 (0) [ー]	人 －					
B 入学者数	人 (ー) [ー]	人 (ー) [ー]	人 (ー) [ー]	人 (ー) [ー]	人 (ー) [ー]	人 (ー) [ー]	人 (ー) [ー]	人 (ー) [ー]	人 (ー) [ー]	人 128 (0) [ー]	人 －					
入学定員超過率 B／A	－		－		－		－		－		1. 09					

- (注)・報告年度の５月１日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「－」を記入してください。
 - ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
 - ・ 転入学生は記入しないでください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
 - ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳（予定を含む）を記載してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「－」を選択。）
 - ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における５月１日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和８年度開設用）Ⅳ.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 - ・ 「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第１条第２項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第２項及び第４項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
 - ・ 「(５)－② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「４ 既設大学等の状況」JAC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5)－③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度		令和 7 年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	128 [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	
2 年次			－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	
3 年次					－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	
4 年次							－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	
計			－ [ー] (ー)				－ [ー] (ー)		－ [ー] (ー)		－ [ー] (ー)		

- (注)・ 報告年度の 5 月 1 日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
令和2年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
令和7年度	128 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
			令和7年度	- 人	- 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「修学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例) ・修学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 一⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\text{\#VALUE!}} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\text{\#VALUE!}} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VAL!} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\text{\#VALUE!}} = \boxed{-} \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数(a)}}{\text{令和7年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\text{\#VALUE!}} = \boxed{-} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<看護学部 看護学科>

(1) ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	主要 授業 科目	単位数			基幹教員等の配置					の基 幹教 員(助 手外 を除く)
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
基礎科目・教養教育科目	哲学入門	1前			1							1
	論理学入門	1後			1							1
	人間学	2後			1							1
	心理学	1後			1							1
	宗教学入門	1前			1							1
	死生学入門	2後			1							1
	統合医療論	2後			1							1
	文化人類学	1前			1							1
	共生社会論	1後			1							1
	人権とジェンダー	1後			1							1
	近畿の歴史と文化	1後			1							1
	法学	1前			2		1					
	経済学入門	1前			1							1
	マーケティング論	3前			2							1
	簿記入門	3前			1							1
	フィールドワーク入門	1後			1							1
	ボランティア論	1前			1							1
	国際比較福祉論	2後			1							1
	環境と生活	2後			1		1					
	発酵学入門	3前			1		1			1		
基礎科目・語学教育科目	数理・データサイエンス・AI入門	1後			1							2
	デジタル・コミュニケーション	2後			2							1
	英語Ⅰ	1前	1									1
	英語Ⅱ	1後	1									1
	医療英語Ⅰ	2前			1							1
	医療英語Ⅱ	2後			1							1
	複言語・複文化へのいざないA	1前			1							1
	複言語・複文化へのいざないB	1前			1							1
基礎科目・理系基礎科目	複言語・複文化へのいざないC	1前			2							3
	統計学Ⅱ	1後			1							1
	情報科学Ⅱ	1前			1							2
	数学基礎Ⅰ	1前			1							1
	数学基礎Ⅱ	1後			1							1
	物理学基礎Ⅰ	1前			1							1
	物理学基礎Ⅱ	1後			1							1
	化学基礎	1前			1							1
基礎科目・初年次教育科目	生物学入門	1後			1							1
	再生医療入門	2後			1							3
	学びの基盤	1前	2									3
	健康科学	1前			1		1					2
	コミュニケーション論	1前			1							1
	統計学Ⅰ	1前	1									1
	情報科学Ⅰ	1前	2									2
	体育講義	1後			1							1
基礎科目・その他・その他	体育実習	1前			1							1
	国際医療研修	1前			1			1				3
基礎科目・その他・その他	大学コンソーシアム大阪の単位 互換協定に基づく科目	1前から 4前まで			1または2							
	小計(47科目)	ー		7	45	0	4	0	1	0	1	55
専門基礎科目・人体の機能と構造	解剖生理学Ⅰ	1前		2								1
	解剖生理学Ⅱ	1後		2								1
	生化学	1前		1								1
	代謝栄養学Ⅰ	2後		1								1
	代謝栄養学Ⅱ	2後			1							1
	薬理学	2後		2								1

【令和7年度】

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	主要 授業 科目	単位数			基幹教員等の配置					の基 幹教 員(助 手外 を除く)
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
基礎科目・教養教育科目	哲学入門	1前			1							1
	論理学入門	1後			1							1
	人間学	2後			1							1
	心理学	1後			1							1
	宗教学入門	1前			1							1
	死生学入門	2後			1							1
	統合医療論	2後			1							1
	文化人類学	1前			1							1
	共生社会論	1後			1							1
	人権とジェンダー	1後			1							1
	近畿の歴史と文化	1後			1							1
	法学	1前			2		1					
	経済学入門	1前			1							1
	マーケティング論	3前			2							1
	簿記入門	3前			1							1
	フィールドワーク入門	1後			1							1
	ボランティア論	1前			1							1
	国際比較福祉論	2後			1							1
	環境と生活	2後			1		1					
	発酵学入門	3前			1		1				1	
基礎科目・語学教育科目	数理・データサイエンス・AI入門	1後			1							2
	デジタル・コミュニケーション	2後			2							1
	英語Ⅰ	1前	1									1
	英語Ⅱ	1後	1									1
	医療英語Ⅰ	2前			1							1
	医療英語Ⅱ	2後			1							1
	複言語・複文化へのいざないA	1前			1							1
	複言語・複文化へのいざないB	1前			1							1
基礎科目・理系基礎科目	複言語・複文化へのいざないC	1前			2							3
	統計学Ⅱ	1後			1							1
	情報科学Ⅱ	1前			1							2
	数学基礎Ⅰ	1前			1							1
	数学基礎Ⅱ	1後			1							1
	物理学基礎Ⅰ	1前			1							1
	物理学基礎Ⅱ	1後			1							1
	化学基礎	1前			1							1
基礎科目・初年次教育科目	生物学入門	1後			1							1
	再生医療入門	2後			1							3
	学びの基盤	1前	2									2
	健康科学	1前			1		1					1
	コミュニケーション論	1前			1							1
	統計学Ⅰ	1前	1									1
	情報科学Ⅰ	1前	2									2
	体育講義	1後			1							1
基礎科目・その他・その他	体育実習	1前			1							1
	国際医療研修	1前			1				1			2
基礎科目・その他・その他	大学コンソーシアム大阪の単位 互換協定に基づく科目	1前から 4前まで			1または2							
	小計(47科目)	ー		7	45	0	4	0	1	0	1	55
専門基礎科目・人体の機能と構造	解剖生理学Ⅰ	1前		2								1
	解剖生理学Ⅱ	1後		2								1
	生化学	1前		1								1
	代謝栄養学Ⅰ	2後		1								1
	代謝栄養学Ⅱ	2後			1							1
	薬理学	2後		2								1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					の基幹教員(助手以外を除く)
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門基礎科目・人体の機能と構造	微生物学	1後		2			1				1	
	病理学	1後		2								1
	病態学Ⅰ(症候論)	2前	○	1					1		1	1
	病態学Ⅱ(病態生理学)	2前	○	1							1	1
	病態学Ⅲ(病態臨床学)	2後	○	1								1
	病態学Ⅳ(病態治療論)	2後	○	1			1				1	2
	臨床検査学	2前	○	1			1				1	1
	基礎医学実習	1後	○	2			1				1	2
	精神医学概論	1後		2								1
専門基礎科目・健康支援と社会保障	看護倫理	1後	○	1			1					
	家族看護論	2後	○	1			2					
	がんとターミナルケア	3前	○	2			2		1			
	ヘルスコミュニケーション	1前			1							1
	医療心理学	1前			1							1
	医療倫理学概論	4前		1								1
	社会保障論	4後		1								1
	医療制度論	1前			2							1
	保健医療福祉行政論Ⅰ	4前			2							1
	保健医療福祉行政論Ⅱ	4後			2							1
	公衆衛生学	1前			2				1			
	疫学	3前	○		2		1					1
	保健統計学	1後		2								1
	シン・メディカルⅠ	1前	○	0.5			1		2			10
	シン・メディカルⅡ	2後	○	0.5					1	2		11
	シン・メディカルⅢ	3前	○	0.5			1			2		8
	シン・メディカルⅣ	4後	○	0.5			1		1			7
	ホースセラピー	2前			1		1					4
	小計(33科目)	－		31	14	0	14	0	7	4	6	65
専門科目・基礎看護	看護学概論	1前	○	2			3					
	基礎看護学援助論Ⅰ	1前	○	2			2		2	1	2	
	基礎看護学援助論Ⅱ	1後	○	2			2		2	1	2	
	基礎看護学援助論Ⅲ	2前	○	2			2		2	1	2	
	基礎看護学援助論Ⅳ	2後	○	2			2		2	1	2	
	臨床看護総論	2前	○	1					2		2	
	基礎看護学実習Ⅰ	1後	○	1			2		2	1	2	
	基礎看護学実習Ⅱ	2後	○	2			2		2	1	2	
	看護研究方法論	3前	○	1			1					
	看護管理学	3前	○	1			1		1		2	
	国際看護学	3前		1								1
	災害看護学	4前	○	1			1				2	
	統合看護学実習	4前	○	2			10		7	6	8	
	看護学総合演習	4後		1			15		7	6	8	3
	国際看護研修	3前			1		1					
	卒業研究	4通	○	2			15		7	6	8	
専門科目・成人・老年看護	成人看護学概論	2前	○	2			1		1		1	
	成人看護学援助論Ⅰ	2後	○	1					1		1	
	成人看護学援助論Ⅱ	2後	○	1			1				1	
	成人看護学演習Ⅰ	3前	○	1					1		1	
	成人看護学演習Ⅱ	3前	○	1			1					
	成人看護学実習Ⅰ	3後	○	2					1		1	
	成人看護学実習Ⅱ	3後	○	2			1					
	地域・成人看護学実習Ⅰ	3後	○	1					1		1	
	地域・成人看護学実習Ⅱ	3後	○	1			1					
	老年看護学概論	2前	○	2			1		1		1	
	老年看護学援助論	2後	○	1			1		1		1	
	老年看護学演習	3前	○	2			1		1		1	
	老年看護学実習	3後	○	3			1		1		1	
	地域・老年看護学実習	3後	○	1			1		1		1	
	小児看護学概論	2前	○	2			1			1	1	
	小児看護学援助論	2後	○	1			2				1	
専門科目・母子看護	小児看護学活動論	3前	○	1			1			1	1	
	小児看護学実習	3後	○	2			1			1	1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					の基幹教員(助手以外を除く)
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門基礎科目・人体の機能と構造	微生物学	1後		2			1				1	
	病理学	1後		2								1
	病態学Ⅰ(症候論)	2前	○	1					1		1	1
	病態学Ⅱ(病態生理学)	2前	○	1							1	1
	病態学Ⅲ(病態臨床学)	2後	○	1								1
	病態学Ⅳ(病態治療論)	2後	○	1			1				1	2
	臨床検査学	2前	○	1			1				1	1
	基礎医学実習	1後	○	2			1				1	2
	精神医学概論	1後		2								1
専門基礎科目・健康支援と社会保障	看護倫理	1後	○	1			1					
	家族看護論	2後	○	1			2					
	がんとターミナルケア	3前	○	2			2		1			
	ヘルスコミュニケーション	1前			1							1
	医療心理学	1前			1							1
	医療倫理学概論	4前		1								1
	社会保障論	4後		1								1
	医療制度論	1前			2							1
	保健医療福祉行政論Ⅰ	4前			2							1
	保健医療福祉行政論Ⅱ	4後			2							1
	公衆衛生学	1前			2							1
	疫学	3前	○		2				1			1
	保健統計学	1後		2								1
	シン・メディカルⅠ	1前	○	0.5			1		1	1		8
	シン・メディカルⅡ	2後	○	0.5					1	2		11
	シン・メディカルⅢ	3前	○	0.5			1		1	1		8
	シン・メディカルⅣ	4後	○	0.5			1		1			7
	ホースセラピー	2前			1					1		4
	小計(33科目)	－		31	14	0	14	0	7	4	6	65
専門科目・基礎看護	看護学概論	1前	○	2			3					
	基礎看護学援助論Ⅰ	1前	○	2			2		2	1	2	
	基礎看護学援助論Ⅱ	1後	○	2			2		2	1	2	
	基礎看護学援助論Ⅲ	2前	○	2			2		2	1	2	
	基礎看護学援助論Ⅳ	2後	○	2			2		2	1	2	
	臨床看護総論	2前	○	1					2		2	
	基礎看護学実習Ⅰ	1後	○	1			2		2	1	2	
	基礎看護学実習Ⅱ	2後	○	2			2		2	1	2	
	看護研究方法論	3前	○	1			1					
	看護管理学	3前	○	1			1		1		2	
	国際看護学	3前		1								1
	災害看護学	4前	○	1			1				2	
	統合看護学実習	4前	○	2			10	1	7	5	8	
	看護学総合演習	4後		1			15	1	7	5	8	3
	国際看護研修	3前			1		1					
	卒業研究	4通	○	2			15	1	7	5	8	
専門科目・成人・老年看護	成人看護学概論	2前	○	2			1		1		1	
	成人看護学援助論Ⅰ	2後	○	1					1		1	
	成人看護学援助論Ⅱ	2後	○	1			1			1		
	成人看護学演習Ⅰ	3前	○	1					1		1	
	成人看護学演習Ⅱ	3前	○	1			1			1		
	成人看護学実習Ⅰ	3後	○	2					1		1	
	成人看護学実習Ⅱ	3後	○	2			1			1		
	地域・成人看護学実習Ⅰ	3後	○	1					1		1	
	地域・成人看護学実習Ⅱ	3後	○	1			1			1		
	老年看護学概論	2前	○	2			1		1		1	
	老年看護学援助論	2後	○	1			1		1		1	
	老年看護学演習	3前	○	2			1		1		1	
	老年看護学実習	3後	○	3			1		1		1	
	地域・老年看護学実習	3後	○	1			1		1		1	
	小児看護学概論	2前	○	2			1			1	1	
	小児看護学援助論	2後	○	1			2				1	
専門科目・母子看護	小児看護学活動論	3前	○	1			1			1	1	
	小児看護学実習	3後	○	2			1			1	1	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	主 要 授 業 科 目	単位数			基幹教員等の配置					基 幹 教 員 （ 助 手 を 除 く ） 以 外				
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手					
専 門 科 目 ・ 看 護	母性看護学概論	2前	○	2			1		1		1					
	母性看護学援助論	2後	○	1			2		1		1					
	母性看護学活動論	3前	○	1			2		1							
	母性看護学実習	3後	○	2			2		1							
専 門 科 目 ・ 広 域 看 護	精神看護学概論	2前	○	2			1				1					
	精神看護学援助論	2後	○	1			1				1					
	精神看護学活動論	3前	○	1			1				1					
	精神看護学実習	3後	○	2			1				1					
	地域・在宅看護学概論	2前	○	2			1		1	1						
	地域・在宅看護学援助論	2後	○	2			1		1	1						
	地域・在宅看護学活動論	3前	○	2			1		1	1						
	地域・在宅看護学実習	3後	○	2			1		1	1						
	公衆衛生看護学概論Ⅰ	1後		1			1		1	2						
	公衆衛生看護学概論Ⅱ	1後			1		1		1	2						
	公衆衛生看護学援助論Ⅰ	2前			2		1		1	2						
	公衆衛生看護学援助論Ⅱ	2後			2		1		1	2						
	公衆衛生看護学活動論Ⅰ	3前			2		1		1	2						
	公衆衛生看護学活動論Ⅱ	3前			2		1		1	2						
	公衆衛生看護学統合論	4前			3		2		1	2						
	公衆衛生看護学実習Ⅰ	4通			4		1		1	2						
	公衆衛生看護学実習Ⅱ	4通			1		1		1	2						
	公衆衛生看護学総合演習	4後			1		1		1	2						
	専 門 科 目 ・ 教 育	看護教育方法Ⅰ	2後			2		1					1			
		看護教育方法Ⅱ	4前			2		1								
学校保健		2前			2		1									
養護学概論		2後			2		1									
健康相談活動論		3前			2		1					1				
教育原論		1前			2		1									
教職論		1後			2							1				
教育社会学		1後			2		1									
教育心理学		1後			2		1					1				
特別支援教育論		2後			1		1					1				
教育課程論		2前			2							1				
道德教育の指導法		3前			2							1				
特別活動・総合的な学習		2後			2		1									
教育方法論（ICT活用含む）		2後			2							2				
生徒・進路指導論		2後			2		1									
教育相談		1後			2							1				
教育実習指導		4通			1		1									
教育実習		4後			2		1									
教職実践演習（高）		4後			2		1									
養護実習指導		4前			1		1									
養護実習		4前			4		1									
教職実践演習（養護教諭）		4後			2		1									
小計（78科目）				－			71	62	0	117	0	64	51	63	14	
合計（158科目）		－			109	121	0	135	0	72	55	70	134			
卒業要件及び履修方法																
基礎科目 必修科目 7単位 選択科目 12単位以上 ・教養教育科目から2単位以上 ・語学教育科目から2単位以上 ・理系基礎科目から2単位以上 ・初年次教育科目から1単位以上 専門基礎科目 必修科目 31単位 専門科目 必修科目 71単位 選択必修科目（「学校保健」「教職論」「教育社会学」）4単位以上 専門基礎科目と専門科目からあわせて 選択科目 4単位以上 合計 129単位以上 （履修科目の登録上限：50単位（年間））																

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	主 要 授 業 科 目	単位数			基幹教員等の配置					基 幹 教 員 （ 助 手 を 除 く ） の 基 幹 教 員 （ 助 手 以 外 ）
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門科目・ 看護	母性看護学概論	2前	○	2			1		1		1	
	母性看護学援助論	2後	○	1			2		1		1	
	母性看護学活動論	3前	○	1			2		1			
	母性看護学実習	3後	○	2			2		1			
専門科目・ 広域看護	精神看護学概論	2前	○	2			1				1	
	精神看護学援助論	2後	○	1			1				1	
	精神看護学活動論	3前	○	1			1				1	
	精神看護学実習	3後	○	2			1				1	
	地域・在宅看護学概論	2前	○	2			1		1	1		
	地域・在宅看護学援助論	2後	○	2			1		1	1		
	地域・在宅看護学活動論	3前	○	2			1		1	1		
	地域・在宅看護学実習	3後	○	2			1		1	1		
	公衆衛生看護学概論Ⅰ	1後		1			1	1		2		
	公衆衛生看護学概論Ⅱ	1後			1		1	1		2		
	公衆衛生看護学援助論Ⅰ	2前			2		1	1		2		
	公衆衛生看護学援助論Ⅱ	2後			2		1	1		2		
	公衆衛生看護学活動論Ⅰ	3前			2		1	1		2		
	公衆衛生看護学活動論Ⅱ	3前			2		1	1		2		
	公衆衛生看護学統合論	4前			3		2	1		2		
	公衆衛生看護学実習Ⅰ	4通			4		1	1		2		
	公衆衛生看護学実習Ⅱ	4通			1		1	1		2		
	公衆衛生看護学総合演習	4後			1		1	1		2		
専門科目・ 教育	看護教育方法Ⅰ	2後			2		1					1
	看護教育方法Ⅱ	4前			2		1					
	学校保健	2前			2		1					
	養護学概論	2後			2		1					
	健康相談活動論	3前			2		1					1
	教育原論	1前			2		1					
	教職論	1後			2							1
	教育社会学	1後			2		1					
	教育心理学	1後			2		1					1
	特別支援教育論	2後			1		1					1
	教育課程論	2前			2							1
	道德教育の指導法	3前			2							1
	特別活動・総合的な学習	2後			2		1					
	教育方法論（ICT活用含む）	2後			2							2
	生徒・進路指導論	2後			2		1					
	教育相談	1後			2							1
	教育実習指導	4通			1		1					
	教育実習	4後			2		1					
	教職実践演習（高）	4後			2		1					
	養護実習指導	4前			1		1					
	養護実習	4前			4		1					
	教職実践演習（養護教諭）	4後			2		1					
小計（78科目）		－		71	62	0	117	0	64	51	63	14
合計（158科目）		－		109	121	0	135	0	72	55	70	134
卒業要件及び履修方法												
基礎科目 必修科目 7単位 選択科目 12単位以上 ・教養教育科目から2単位以上 ・語学教育科目から2単位以上 ・理系基礎科目から2単位以上 ・初年次教育科目から1単位以上 専門基礎科目 必修科目 31単位 専門科目 必修科目 71単位 選択必修科目（「学校保健」「教職論」「教育社会学」）4単位以上 専門基礎科目と専門科目からあわせて 選択科目 4単位以上 合計 129単位以上 （履修科目の登録上限：50単位（年間））												

（注）・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）

・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。

なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準（令和4年10月1日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	主 要 授 業 科 目	単位数			基幹教員等の配置					の 基 幹 教 員 以 外 の 教 員 （ 助 手 除 く）
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	主 要 授 業 科 目	単位数			基幹教員等の配置					の 基 幹 教 員 以 外 の 教 員 （ 助 手 除 く）
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	

改正後大学設置基準等（令和 4 年10月 1 日施行）の適用以前については、改正前様式第 2 号（その 2 の 1）に準じて作成してください。

- 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- 「基幹教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
- 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員（助手を除く）」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員（助手を除く）」としてください。
- 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て（基幹教員（大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」）以外の教員（助手を除く）（改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員）が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。

その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。

なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等（令和 4 年10月 1 日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、「認可時又は届出時」の「主要授業科目」欄は削除し、「基幹教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」、「基幹教員以外の教員（助手を除く）」欄は「兼任・兼任」としてください。その上で、各年度については、「基幹教員（大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」）」数は、認可時又は届出時の「専任教員」数との比較において変更となっている箇所、「基幹教員以外の教員（助手を除く）（大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員以外の教員（助手を除く）」）」数は、認可時又は届出時の「兼任・兼任」数との比較において変更となっている箇所を太字の赤字としてください。

- （専任教員から基幹教員に変更したことをもって太字の赤字とする必要はありません。）
- 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
- 1 ページ目には認可時又は届出時と報告年度 2 つの表を記入してください。
- 不要な年度（令和 6 年度開設であれば令和 5 年度以前）の表は適宜削除してください。（2 つの表が 1 ページに表示されるようにしてください。）
- 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
- 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に（新）又は（旧）と追記してください。（例：記載順）【認可時又は届出時】→【令和 7 年度】(新)→【令和 6 年度】(新)→【令和 5 年度】→【令和 4 年度】→【令和 7 年度】(旧)→【令和 6 年度】(旧)

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	主 要 授 業 科 目	単位数			基幹教員等の配置					の基 幹教 員以 外 の 教 員 （ 助 手 除 く）
				必	選	自	教	准	講	助	助	
				修	択	由	授	授	師	教	手	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	主 要 授 業 科 目	単位数			基幹教員等の配置					の基 幹教 員以 外 の 教 員 （ 助 手 除 く）
				必	選	自	教	准	講	助	助	
				修	択	由	授	授	師	教	手	

（１）－②授業科目表に関する変更内容

【令和 7 年度】

- ・基幹教員以外の教員の退職により、「学びの基盤」「国際医療研修」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員 3」から「基幹教員以外の教員 2」に変更。
- ・担当教員の変更により、「公衆衛生学」の基幹教員等の配置を「基幹教員 講師 1」から「基幹教員 講師 0」に、「基幹教員以外の教員 0」から「基幹教員以外の教員 1」に変更。
- ・担当教員の変更により、「シン・メディカルⅠ」の基幹教員等の配置を「基幹教員 講師 2」から「基幹教員 講師 1」に、「基幹教員 助教 0」から「基幹教員 助教 1」に、「基幹教員以外の教員 10」から「基幹教員以外の教員 8」に変更。
- ・昇任人事により、「統合看護学実習」「看護学総合演習」「卒業研究」「公衆衛生看護学概論Ⅰ」「公衆衛生看護学概論Ⅱ」「公衆衛生看護学援助論Ⅰ」「公衆衛生看護学援助論Ⅱ」「公衆衛生看護学活動論Ⅰ」「公衆衛生看護学活動論Ⅱ」「公衆衛生看護学統合論」「公衆衛生看護学実習Ⅰ」「公衆衛生看護学実習Ⅱ」「公衆衛生看護学総合演習」の基幹教員等の配置を「基幹教員 講師 1」を「基幹教員 准教授 1」に変更。
- ・昇任人事により、「シン・メディカルⅢ」「小児看護学概論」「小児看護学活動論」「小児看護学実習」の基幹教員等の配置を「基幹教員 助教 1」から「基幹教員 講師 1」に変更。
- ・昇任人事により、「統合看護学実習」「看護学総合演習」の「基幹教員 助教 6」を「基幹教員 助教 5」に変更。

- (注)・ 2（１）-① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。
- 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準（令和 4 年 10 月 1 日施行）の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合（例：「専任教員 教授 1」から「基幹教員 教授 1」に変更）や、兼任・兼任教員から基幹教員以外の教員に変更した場合（例：「兼任教員 1」から「基幹教員以外の教員 1」に変更）については、記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和 6 年度開設であれば令和 5 年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ 1 つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
75 科目	83 科目	0 科目	158 科目	75 科目 [0]	83 科目 [0]	0 科目 [0]	158 科目 [0]	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1 科目減の場合：△ 1）
- 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{158} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	藍野大学短期大学部移 転によるキャンパス整 備に伴う変更（7）			
	校 舎 敷 地	24,753.76㎡ 24,749.74㎡	12,693.73㎡ 12,693.73㎡	3,958.00㎡	41,405.49㎡ 41,401.47㎡				
	そ の 他	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡				
	合 計	24,753.76㎡ 24,749.74㎡	12,693.73㎡ 12,693.73㎡	3,958.00㎡	41,405.49㎡ 41,401.47㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	藍野大学短期大学部移 転によるキャンパス整 備に伴う変更（7）			
		29,702.54㎡ 28,758.74㎡ -(29,702.54㎡) (28,758.74㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	29,702.54㎡ 28,758.74㎡ -(29,702.54㎡) (28,758.74㎡)				
(3)教室・教員研究室		教 室	23室	教員研究室	78室	大学全体			
(4) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書		学術雑誌		機械・器具 点	標本 点	学部単位での特定不能 なため、大学全体の数	
		〔うち外国書〕 冊	電子図書 〔うち外国書〕	〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕				
	看護学部	80,495〔4,000〕 -(74,255〔3,403〕) (74,021〔3,411〕)	100〔10〕 -(38〔0〕) (38〔0〕)	1,350〔153〕 -(1,305〔146〕) (1,424〔147〕)	4〔2〕 -(2〔1〕) (2〔0〕)	9,305 (9,133)	70 (70)		
	計	80,495〔4,000〕 -(74,255〔3,403〕) (74,021〔3,411〕)	100〔10〕 -(38〔0〕) (38〔0〕)	1,350〔153〕 -(1,305〔146〕) (1,424〔147〕)	4〔2〕 -(2〔1〕) (2〔0〕)	9,305 (9,133)	70 (70)		
(5)スポーツ施設等		スポーツ施設		講堂		厚生補導施設		大学全体	
		0㎡		0㎡		583.21㎡			
(6) 経費の見 積り及び 維持方法 の 概 要	経費 の見 積り	区 分		開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人 当り 研究費等		240千円	240千円	図書購入費	17,585千円	17,444千円	15,610千円
		共 同 研 究 費 等		0千円	0千円	設備購入費	0千円	3,000千円	3,000千円
	学生 1 人 当 り 納付金	第 1 年 次		第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	
		1,850千円		1,700千円	1,700千円	1,700千円	— 千円	— 千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要			補助金、雑収入等					

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）又は（その1の3）に準じて作成してください。
（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（1）校地等」及び
「（2）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA C対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 「（4）図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（6）」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 高等専門学校については「（3）教室・教員研究室」欄の「教員研究室」は記載不要です。
 - ・ 国立大学については「（6）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	藍 野 大 学									収容定員充足率0.7倍以下の学科数	2	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考		
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度				
医療保健学部	4	180	-	720	-	0.95	-	-	平成16	-			
看護学科	4	-	-	-	学士(看護学)	-	-	-	平成16	大阪府茨木市東太田4-5-4	令和7年度入学生より学生募集停止		
理学療法学科	4	80	-	380	学士(理学療法学)	1.13	1.11	-	平成16	同上	令和7年度から入学定員変更(100→80)		
作業療法学科	4	40	-	160	学士(作業療法学)	0.94	-	-	平成16	同上			
臨床工学科	4	30	-	150	学士(臨床工学)	0.64	-	-	平成22	同上	令和7年度から入学定員変更(40→30)		
健康科学科	4	30	-	30	学士(健康科学)	0.36	-	-	令和7	同上			
看護学部	4	115	3年次2	464	-	1.11	-	-	令和7	-			
看護学科	4	115	3年次2	464	学士(看護学)	1.11	-	-	令和7	大阪府茨木市東太田4-5-4			
大学全体	4	295	3年次2	1184	-	-	-	-	-	-			

- (注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）
- なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「－」とした上で、「非表示」設定としてください。
 - ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度 A C の対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
 - ・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の**学科**については、**必ず太字にしてください**。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 - ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。
詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますので参照ください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和6年)	該当なし		

- (注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおり記載してください。
【令和6年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（６）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（７）」と記載してください。
【令和6年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（６）（７）」と記載してください。
【令和7年度から新たに調査対象となった学科等又は令和6年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（７）」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。
その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<看護学部 看護学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

既設の医療保健学部・看護学研究科・健康科学研究科と共通の「FD・SD推進部会」を設置している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

4月に今年度第1回目の部会を開催している。今後も年に2～3回開催の予定である。

c 委員会の審議事項等

- (1) FD・SD活動の啓発に関すること。
- (2) FD・SD活動の企画、立案及び実施に関すること。
- (3) FD・SD活動の点検・評価及び報告
- (4) その他、FD・SD活動全般に関すること。

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 授業・研究に関連する研修会
- ・ 教員相互の授業ピア・レビュー

b 実施方法

研修会は基本的に対面で行うが、録画した内容を後日オンデマンド方式でも受講できるようにしている。
授業ピア・レビューは、参観教員が授業担当教員に連絡を取り、各自年間1回以上参加する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

研修会

第1回 研究倫理コンプライアンス研修 90名参加

第2回 学生募集マーケティング 49名参加

第3回 修士課程における論文作成について～これまでの経験をとおして～
それぞれの研究科における修士論文への進め方 46名参加

第4回 学生相談窓口から見る藍野大学生の傾向 -学生相談・修学支援- 70名参加

第5回 地域-大学 / 教員-職員 / 学生-教職員一体の大学改革 -選ばれる大学の未来像- 56名参加

第6回 高等教育と生成AI：医療分野における活用事例 67名参加

第7回 ハラスメント防止研修 62名参加

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

「FD・SD推進部会」で、研修会や授業ピア・レビューで出された意見を確認し、今後の取り組みに活かしている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

各科目の授業期間の中間時期に、授業アンケートを実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員は、各自システムで担当科目の結果を授業の中間時期に確認できるため、その後の授業改善に役立てることができる。学生へは大学ホームページにて全体の結果を公表している。

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的のとおり看護学部看護学科を開設し、128名の学生を受け入れ順調に運営を行っている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和7年5月 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

- ・令和5（2023）年度、公益財団法人大学基準協会の大学評価（認証評価）を受審し、大学基準に適合しているとの認定を受けた。
- ・なお、今回は、令和12（2030）年度に同協会にて認証評価を受審する計画である。

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和7年度）

a 公表予定の有無 [☒ 有 ・ ☐ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ ☒ 公表後2～3ヶ月以内 ☐ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [☒ ウェブサイトへの掲載 ☐ その他（ ）]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに掲載するなど、積極的な情報提供をお願いします。